

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

(小泉・本沼地区活性化計画)

計画主体名	計画期間
栃木県 <small>はがぐんましこまち</small> 芳賀郡益子町 栃木県(代表)	平成26年度～平成29年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
栃木県農政部農村振興課	028-623-2363	028-623-2337	noson-sinko@pref.tochigi.jp
益子町産業建設部農政課	0285-72-8836	0285-70-1180	nousei@town.mashiko.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	設定する目標は計画区域における区画整理事業着手までの年数とし、以下により求めることとする。 $\text{計画区域における区画整理事業着手までの年数(年)} = \text{事業実施(平成26～28年度)後、区画整理事業の着手(平成29年度)までの年数(年)}$
事業活用活性化計画目標の設定根拠 小泉・本沼地区は町の南部に位置し葉たばこや麦の畑作地帯であるが、農業用道路やかんがい施設などの農業生産基盤が未整備であり、区画形状は狭小で不整形であるため、生産性の低い基盤状況となっている。 このため、農地整備事業の実施により、生産基盤の整備及び農用地の集団化を行い農作業効率の向上を図ることにより、農業後継者の農業に対する意欲を増進させる。また担い手への農地利用集積を促進することにより、担い手が意欲を持って定住できる環境を整備し、農業従事者の定住化を図る。 農地整備事業の実施の実施に当たっては、調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となるべき地形図の作成と、地区内農地等の状況を調査し地域の実情に合わせた営農構想を作成する農用地等集団化事業の実施が必要であり、農地整備事業の円滑な実施を計画目標とする。計画目標は、計画区域における区画整理事業着手までの年数であるため、増加率を1年とした。		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
基盤整備(農用地等集団化)	小泉地区	経営体育成促進換地等調整 (地区内農地等状況調査、 合意形成促進、地区内ア ンケート調査、地域営農構 想作成、換地設計基準作 成、経営体育成方針作成)	38ha	H27年～H28年	益子町	2,000	1,000	1/2	1,000	地区内の分散化された農地の集団化を行い、担い手や後継者の確保と育成を図り定住化に資するために、経営体育成促進換地等調整事業及び地形図作成事業を実施し、農地整備事業小泉・本沼地区の円滑な着手を図る。
基盤整備(地形図作成)	小泉地区	地形図作成	62ha	H26年	益子町	5,300	2,650	1/2	2,650	
合計						7,300	3,650		3,650	

Ⅲ 他の施策との連携に関する事項 …該当なし

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

